



厚木演劇鑑賞会第130回例会・会報

オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ 『フィガロの結婚』 モーツァルト・エキゾチカー

【日時】 4月16日(木) 6時30分開演

【会場】 厚木市文化会館・大ホール

オペラシアターこんにゃく座公演

フィガロの結婚

モーツァルト・エキゾチカ



スタッフ

原作 = ボーマルシェ
台本 = ロレンツォ・ダ・ポンテ
作曲 = ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
林光(マルチェリーナのタンゴ)
訳・演出 = 加藤直 美術 = 池田ともゆき
衣裳 = 合田瀧秀 照明 = 室伏生大
振付 = 伊藤多恵
編曲 = 林光・萩京子・吉川和夫・寺嶋陸也
舞台監督 = 北村雅則 音楽監督 = 萩京子
芸術監督 = 林光

例会日程

4月16日(木) 6時30分開演

会場

厚木文化会館・大ホール

現在の会員数 (4 / 6 現在)

647名 (前回より、-13名)

上演時間

2時間50分(予定) 【一幕 / 1時間30分 休憩 / 15分 二幕 / 1時間5分】

観劇マナーを守りましょう！



開演5分前には、座席について静かに幕があがるのを待ちましょう。

開演時間に遅れた場合は、休憩まで2階席で静かにご覧下さい。

上演中のおしゃべり、客席での飲食は禁止されています。

携帯電話、PHS、ポケベルなどの電源は必ず切りましょう。(休憩後も...)

許可のない写真撮影は絶対にしないで下さい。

使用禁止



(3) 第130回例会紹介

フィガロをとりまく人々

マルチェリーナ
(侍女)



相原智枝

バルトロ
(医師)



川鍋節雄

フィガロに阻まれ
恋がかなわず…

バジリオ
(音楽教師)



高野うるお

クルチオ
(判事)



沢井栄次

借金をカタに結婚をせまるが…

伯爵
(アルマヴィーヴァ)



大石哲史

伯爵夫人
(ロジーナ)



梅村博美

夫婦
倦怠
期…

あこが
れ

ケルビーノ
(伯爵の小姓)



西田玲子

【楽士】

- (オーボエ) 伊藤 博
- (クラリネット) 橋爪 恵一
- (ファゴット) 前田 正志
- (ヴァイオリン) 山田 百子
- (ピアノ) 榊原 紀保子

権力をかさに、口説こうとせまる！

フィガロ
(下僕)



酒井聡澄

スザンナ
(小間使い)



青木美佐子

結婚できる？

アントニオ
(スザンナの伯父・庭師)



富山直人

恋仲

バルバリーナ
(アントニオの娘)



太田まり

村人... 中島正貴・宮瀬晃
村娘... 石窪朋・浦上かづこ・影浦英枝・荻千尋

【あらすじ】

アルマヴィーヴァ伯爵の家に仕えるフィガロは、小間使いのスザンナと結婚することになった。しかし伯爵はスザンナにご執心で、隙あらばスザンナを口説こうと躍起になっている。そこで浮気な伯爵を懲らしめるため、伯爵夫人とスザンナが手を組んで、ひと芝居打つことに…。フィガロにも内緒で、スザンナが伯爵を夜の庭におびき出し、スザンナと夫人が衣裳を交換して、伯爵をだまそうというわけである。さて何も知らず、待ち合わせの場所にやってきた伯爵を待ち受けていたものは…!?

オペラシアターこんにゃく座と 『フィガロの結婚』についての、Q & A

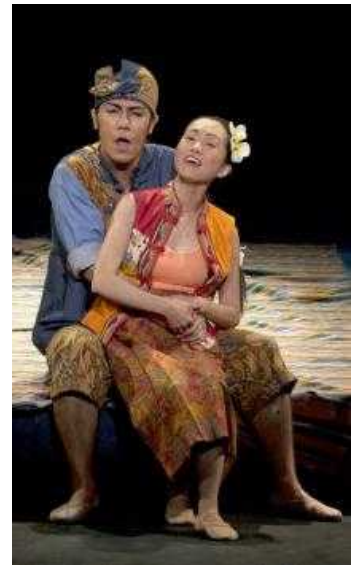
Q1 こんにゃく座とはどんな劇団？

A1 1971年に、日本のオペラを上演する専門のオペラ劇団として創立。劇団のモットーは...

日本語がはっきり伝わり、音楽的にも演劇的にも楽しめるオペラを上演する。

ピアノ一台あれば、いつでもどこでもその場所を一日だけのオペラハウスにしてしまおう。

日本全国で上演し、オペラの楽しさをたくさんの方々に知っていただき、劇団員は、オペラを公演することで生活していこう...です。



Q2 「こんにゃく座」とは、変わった名前ですが？

A2 東京芸術大学内の「こんにゃく体操ゼミナール」というクラブに参加していた声楽科の学生が、卒業後に創立しました。こんにゃく体操を表現の原点にしようということで、「こんにゃく座」と名付けました。

Q3 モーツァルト・エキゾチカとは？

A3 原作はスペインを舞台としていますが、今回はアジアのどこかです。

そこに支配者として存在する、西洋人のアルマヴィーヴァ伯爵、下僕として仕える東洋人のフィガロという構造です。

物語を遠いヨーロッパに置くのではなく、アジアのどこかの物語とすることによって、今なお依然として存在する世界の対立の構造、支配する者とされる者の関係をくっきりと描き出そうという狙いがあります。

『フィガロの結婚』は、人間の欲望、対立をえがき、最後には愛に至る物語です。

こんにゃく座は、アジアをキーワードに、いまを生きるオペラとして『フィガロの結婚

モーツァルト・エキゾチカー』を皆さまにお届けします。モーツァルトの音楽はもちろん、加藤直のいきいきとした日本語訳と演出を十分にお楽しみ下さい。



前回 / 第129回例会

劇団NLT公演

『嫁も姑も皆幽霊』のまとめ

【日時】 2月13日(金) 6時30分・14日(土) 2時 【会場】 海老名市文化会館

前回例会『嫁も姑も皆幽霊』は海老名演鑑との合同例会でした。

舞台は東京の下町、四代続いた老舗の和菓子屋。息子の圭輔(田村亮)は店を継がずに、今や売れっ子恋愛小説家。店を切り盛りしていた母親(鳳八千代)と妻(音無美紀子)が亡くなつてからは、店は職人の源蔵(川端槇二)にまかせきりで、自分は18歳も年下の若い娘と再婚して新婚ウキウキ気分。

そこへ先妻の幽霊が現れた。『嫉妬して出てきたのか?』『まさか。お義母さんよ。私はあの世でも姑の苦勞をしているのよ。』そう言つて息抜きさせてと、居座つてしまった。

そして今度は母親の幽霊が現れ、ニッコリ微笑んで「あら、嫁が二人になつたのね。ウフフフ!」。圭輔は、「近所や編集者などから、幽霊を隠そうとして、てんやわんやの大騒動が始まる。しかし、母や先妻がこの世に現れた本当の理由を知り、圭輔は涙するのであった」。

舞台が始まり、幽霊姿で音無さんが登場してからは、とにかく笑いつばなしの1幕目でした。音無さんが飛んだり跳ねたり廻つたり? と、とにかく元気です。田村さんは目をつぶつて聞くとお兄さんの田村正和さんの声によく似ています。鳳さんはさすが元宝塚のスターのオーラを感じます。2幕目も終盤に近づくと、幽霊となつて現れた理由が明かされ、客席のあちこちからハンカチを取り出す音が…。大いに笑つてホロリとする、まさに年明けにふさわしい例会でした。

データで見る、『嫁も姑も皆幽霊』のまとめ

会員動態・組織構成

入会数		4人
退会数		18人
会員数		660人
種別	一般会員	418人
	家族会員	237人
	大学・障害者	5人
構成	サークル	87サークル
	未サークル	53サークル

会場アンケート結果

大変良い	22人
良い	4人
ふつう	0人
あまり良くない	0人
良くない	0人
無回答	4人
回収率	5.3%
評価点	4.85点

その他のデータ

参加会員数	568人
(内、他会場での観劇者数 / 11人)	
欠席会員数	103人
(内、「振替券」に変更 / 16人)	
例会参加券忘れ	3人
運営サークルの参加状況	(全26サークルの内、19サークルが参加)
運営サークル拡大率	20.4%



劇団NLT公演

『嫁も姑も皆幽霊』

【作・演出】 池田政之

【出演】 田村 亮・音無美紀子

鳳 八千代・川端槇二 ほか

【美術】 野村真紀 【照明】 古宮俊昭

【音響】 小林 史 【衣裳】 菊田光次郎

【舞台監督】 竹内一貴

【制作】 小川 浩・徳岡典子

感想のひろば

(は女性) (は男性)

三十代の感想

元気なユーレイさんでしたね。楽しかったです。

四十代の感想

久しぶりに笑えました。そして泣きました。私も二人の子供がいますが母親として共感できる部分もあり…でもあそこまで息子をマザコンに育てないつもり！役者さんは皆さん元気ですネ！年齢を聞いてちやうと何であんなに動けるのかと？感心してしまいます。最後は金平糖もキャッチ出来たし。本当に楽しかったです。ありがとうございました。

荒唐無稽な設定ではあるが、最後の最後の種明かしには思わず胸が詰まった親子の情愛、夫婦の情愛、そしてご近所との関係…つまるところは、今の時代に失われつつある、人と人との繋がりの大切が正面きってではなく語られ

た、秀逸な舞台であった。



五十代の感想

とても楽しかったです。ありがとうございました。

とても面白く、最後にホロツとさせられる芝居でした。それにしても、男は本当に甘ったれですね。そして鳳さん音無さんの若さにビックリです。

海老名にまで行くのは面倒だなあと思っていたのですが、来て良かったとつくづく思った作品でした。仕事に追われる毎日ですが、笑ったり泣いたりですべてもスッキリしたひと時でした。良かったです。

音無さんの可愛らしさ、せりふ回しもハキハキしていてまあ良く覚えたこと鳳さんもシャキツとしていてすてきで

感想文を書いて下さい！ あなたの感想は、劇団、役者さんにお届けしています…

した。運営担当になっていて、今回はたくさんの楽しさをもらいました。それに良く笑いました。

大変おもしろく、最後はホロツとさせられた。新春にふさわしく、さわやかな作品でした。搬入から搬出まで、明るく元気で劇団の人たちの人柄、演劇に対しての思いが伝わってくる良い例会でした。

六十代の感想

準備いろいろお世話になりました。最初から最後まで笑わせてくれて面白かった。

メンバーも良く、楽しく観させて頂きました。

笑いながらホロリとする、大変良い話でした。役者さん達もすばらしかったです。

久し振りに大笑いさせて頂きました。あとどれ程の人生が残っているかわかりませんが、悔いなく楽しく生きていきたいと思いました。

現実離れ、夢物語、腹をかかえて笑える芝居でした。天国の仏様が見守ってくれて、ほろり、つかの間の心のいやしです。めでたし、めでたし。

とてもおもしろかった。最初から最後まで笑いがあふれていた。でも終わりの方で、ちょっとほろりとさせられる場面もあり、親と子のあり方が良く表現されているような気がした。搬入の時もテキパキと指示してもらえて、とても動きやすかったです。

楽しくほろにがく、笑いこぼげた時間でした。ふと我に返って、亡き人と思う、ほのぼのとした一時に感謝です。生き残った者として懸命に生きようと心に誓った私です。

久し振りに心から笑える様なお芝居で、大変楽しみました。皆さん芸達者で、あきることがありません。特に音無美紀子さんの舞台は初めてでしたが、「上手」と思いました。こんなことが現実にあつたら、どの人も幸せな気持ちになるのではないかね。

鳳八千代さんがしつとりとした貫禄で全体を締めていましたね。すてきなお姑さんです。現世では、仲悪く



ても、あの世では仲良しだなんて聞くと、なんか楽しみのような??？今現実の私は、九十三才の姑がいる身なので、不思議な気持ち……。音無美紀子さんはおちゃめで、幽霊になつてもやきもちを焼いたりする可愛いお嫁さんでしたね。いつまでも本当にきれいで感心いたしました。楽しい公演で、アツという間に終わってしまいました。公演後にまいたアメは、しっかり頂きました。私の連れも頂きました。ありがとうございました。ありがとうございます。

面白かった！久々に良く笑いました。そして最後にはホロリとさせられました。最初から最後まで、舞台に集中することができ、大満足の商品でした。また、カーテンコールでは田村さんにもみずさわ厚木店よりの水ようかんを手渡すことができ、大変幸せでした。田村さん、皆さんにしっかりと見せて下さいましたよ。あとで、皆さんでいただきますとびおっしゃって下さいました。

七十代の感想

久々に笑えました。時間を忘れるようなテンポと面白さで、演劇のダイゴ味を満喫させて頂きました。

例会当日に書けなくても、後日、えんかん事務所まで、郵送、FAX、メールで送ってください！

た。これからも、こんな風刺の効いたお芝居を観たいです。

運営サークルに参加して…

自分たちの手で鑑賞会が運営されているという責任を感じることができた。

担当のサークル、係の人達、運営委員の人達に感謝の気持ちを持った。

バックステージツアーに参加して、劇団の人とも話ができて、舞台への興味をさらに深めた。

全ての顔合わせには参加できなかったけど、とても楽しかったです。他のサークルの方々のお話を伺うことができたり、参加券の発送作業がけっこう地道で面白かったです。

搬出には夫婦で参加しました。夫は久しぶりに動いて汗をかいたと言って楽しんでました。劇団の方もとても楽しく、手際よく手配してくれて、スムーズにできてよかったです。



次回 / 131 回例会

俳優座劇場プロデュース公演

東京原子核クラブ

読売文学賞受賞作品

作 / マキノノゾミ

演出 / 宮田慶子

主な出演者

田中壮太郎(俳優座)

西山水木(M・M・P)

外山誠二(文学座)

小飯塚貴世江(俳優座)

壇 臣幸(青年座)



東京国際フォーラムのこけら落とし作品。
青春群像劇です、お楽しみに...!



あらすじ

昭和7年、東京本郷にある下宿屋『平和館』。理化学研究所(理研)に勤める若き物理学者・友田晋一郎は、レベルの高さに自信を失い、故郷の京都に帰ろうとしていた。平和館の住人・富佐子もまた、レビューで踊っていたが若い踊り子に人気を取られ、東京を去るところだった。

そんな折、理研の同僚・武山が、友田の提唱した物理学上の仮説が理研の主任に認められたと朗報を伝える。

下宿に住むピアノ弾き、新劇青年、野球に熱中する東大生らと共に、愚かしくも美しい青春の日々が始まる。

だが日本は少しずつ戦争に向かって歩んでいた...

【日時】 6月10日(水) 6時30分開演
【上演時間】 2時間50分(全2幕・休憩 / 15分)
【会場】 厚木市文化会館大ホール

他会場でも観劇できます 厚木で観劇できない場合は、事務局までご連絡下さい。

厚木以外の主な近郊の例会日程(その他の例会日程はホームページ、または事務局へお問合せ下さい。)

6月1日(月)6:30	グリーンホール相模大野(小田急線「相模大野駅」徒歩約5分)
6月12日(金)6:30 / 13日(土)2:00	海老名市文化会館(小田急線「海老名駅」徒歩約5分)
6月15日(月)6:15 / 16日(火)2:00	平塚中央公民館(JR線「平塚駅」徒歩約10分)

マキノノゾミさんの講演会

神奈川ブロック主催による、「東京原子核クラブ」の作者マキノノゾミさんの講演会が、2月28日(土)に藤沢市民会会で行われました。

マキノさんは、昨年、青年座の「FOLKLORE」「MOTHER」など5作品が上演された売れっ子劇作家。神奈川ブロックの各鑑賞会から集まった約六〇人にむかって、俳優座劇場の制作者・箱田氏の質問に答える形で進められました。

まず、「どうして演劇の道に入ったのか」では、すっかり芝居にはまってしまった京都での学生時代のこと、東京へ出るきっかけとなった宮田さん(青年座演出家)との出会いなどを、ユーモアたっぷり語ってくださいました。

「東京原子核クラブ」は、一九九七年、東京国際フォーラムの柿落しとして、東京都から依頼を受けて、理化学研究所をとりあげようと書いた作品とのこと。

「原子核とは硬いといわれるが、内容はそんなことはない。もともとタイトルを「東京フボストーリー」にしようかと思ったのだが」とみんなを笑わせます。「若者たちの話で、ラストは泣かせますので、構えないで見てください」ということでした。

参加者は、「面白かった。青春群像劇といわれる東京原子核クラブが楽しみ。」と話しながら帰ってきました。時代を生き抜く人物を丁寧に描いていくマキノさんの作品、期待しています。
(なぎさサークル/深澤祥江)



(左:箱田さん、右:マキノノゾミさん)

第131回例会 「東京原子核クラブ」 運営サークル一覧表

第131回例会『東京原子核クラブ』の運営サークルは下記のサークルの皆さんです。
毎回、例会の準備・運営は運営サークルの手で行っています。
年に一度だけですので、サークル会員みなで協力して例会を成功させましょう。

サークル名	代表者名	サークル名	代表者名	サークル名	代表者名
101 如スプレッド	灰田春代	217 巨人の星	日野杉恵津子	516 つわぶき	設楽栄子
104 レインボー	羽田喜代美	218 まーちゃん	平尾真由美	519	加藤 茂
106 MASKY	大森知美	223 幸福	狗飼フク	525 ペガサス	佐々木健三
107 すみれ	高橋 静	307 YAH	三橋明美	603	石井マツ枝
128	桜永有子	333 藍	熊澤美貴	609 あやめ会	清水 照
135	東 明美	331	菱山マリ子	618 ベアーズ	水口 淑
202 ロベリア	江藤玲子	414	島貫久子	622	中根文路
204 初蕾	杉田則子	402 かきつばた	荻田 豊	633	伊藤浩美
205 すみれ	赤野敏子	429	加古弘子	629	倉田博喜

(敬称略)

第1回顔合せ

顔合せには、サークルで誘い合って複数で参加しましょう!

【日時】 4月20日(月)2時/6時 21日(火)10時/2時

顔合せの所要時間は約1時間半。都合がつく回に参加して下さい。

【場所】 厚木えんかん・事務所 本厚木駅・南口より徒歩8分

いま会員の皆さんへ伝えたい事...

事務局長 徳原浩之

演劇を観続ける事は大変な時代だけれども...

政治、経済、社会状況...どれもこれも厳しい事しか伝わってきません。こうした中、会員として演劇を観続けていく事は大変な事かもしれません。

誰もが経済的余裕、時間的余裕があるから会員を続けているのではなく、みんな何とかやりくりをつけて例会場に足を運んでいるのだと思います。

作品の好き嫌いは別として(笑)、まずは劇場という空間に身を置くことで、非日常の世界を体感しつつ、舞台から伝わる共感や励ましに心を動かされ、頭

の中では一生懸命、想像力を働かせている...、これこそが、演劇の大きな魅力だと思います。また、例会に参加する事はもちろん演劇を観るためですが、それ以外の「何か」サークルでの楽しい会話?等々もまた例会の魅力になっているのではないのでしょうか。

こうしてやりくりして例会に参加して得るものが、心の豊かさや、知的好奇心の充足、などであるからこそ、会員を続けていけるのだらうと思います。

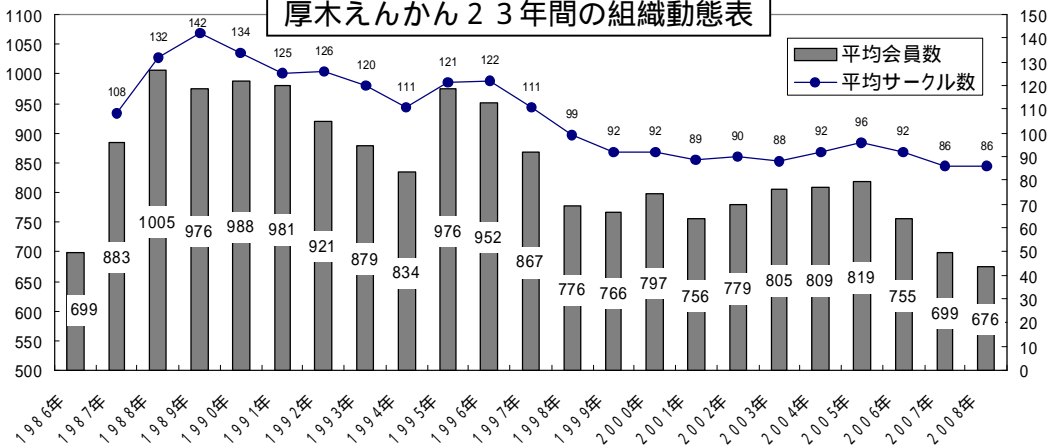
やはり、会員の言葉でないと伝わりません...しかし、いまその例会を支える会員数が減少しています。600名台では、会を維持していくには非常に厳しい状態にあります。今の時代、会員になって例会に参加する楽しさは、会員の言葉でないと廻りの人たちには伝わらないとはつきり言えます。

会員一人ひとりが会の現状を理解し、みずからの言葉で声をかけ、困難を乗り越えていきましょつ。

会員一人ひとりが会の現状を理解し、みずからの言葉で声をかけ、困難を乗り越えていきましょつ。

言葉で声をかけ、困難を乗り越えていきましょつ。

厚木えんかん 23年間の組織動態表

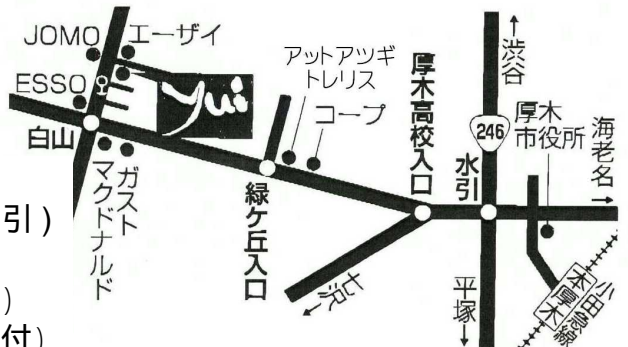


叙情歌とゴスペルのひととき(小野島みき子)
4月21日(火)PM2:00~



メニュー

- 珈琲 500円(おかわりは200円引)
- 紅茶 550円(POT)
- ケーキ 400円(ケーキセット 800円)
- 結(yui)のお昼ごはん 1000円(ドリンク付)



劇団四季・観劇バスツアー

ミュージカル「ライオンキング」を観よう！

厚木えんかんでは、これまで劇団四季ミュージカル「ライオンキング」「キャッツ」(2回)「オペラ座の怪人」「ウィキッド」(2回)の観劇バスツアーを行ってきました！

そして今年は4年ぶり2回目となる『ライオンキング』の観劇バスツアーを行います。

本厚木駅南口(9:30出発)から劇場までの直行バスだからとっても楽です！

【日時】9月13日(日)

《13:00開演の部》

【会場】電通四季劇場(海) 《汐留》

【参加費】12,500円

《S席チケット代+バス代》

【定員】50名《定員になり次第締切》

申込後のキャンセルは不可。参加費は5月27日に会費と一緒に引落とします。



『大人のためのデイズニーシー&ZED観劇ツアー』報告

去る2月28日(土)。今回のバスツアーはいつもの厚木えんかん観劇ツアーとはちよつと違いました。何が？って、あの『夢と魔法の王国』東京デイズニーシー(以下、TDS)と、そのデイズニーリゾート内に出来た世界一有名なエンターテイメント集団シルク・ドゥ・ソレイユの『ZED』がセットになった盛りだくさんツアーですから！

TDSもZEDも初めて、という会員さんがほとんどだった今回のツアー、運営委員で念入りに下見をして、自称(?)デイズニーフリークの私も持っている情報を詰め込み協力させて頂きました！

TDS園内の案内やおすすすめコースを載せた委員手作りのしおりを片手に、皆さん思い思いに園内を散策したり、ショーを楽しんだり…誰もが童心に返って別の国に来たような気分を味わえたのではないのでしょうか。

お子さんやお孫さんと一緒にじゃないとなかなか…という方も、今回はツアー名そのままに『大人のためのデイズニー』、自分たちがめいっぱい楽しむ、そんな贅沢な時間が過ごせたように感じます。

企画した側としても嬉しく思います。

そしてそして、『ZED』は…噂には聞いていましたが、冒頭から鳥肌が立つくらいの迫力と感動！

厚木えんかんではかなり前から席を確保しただけあって、ステージ真正面の程よい距離という位置で、緊迫感とステージ全体の美しさを堪能でき参加者の皆さんから大好評。芸術的な演出の中で魅せる技の数々に、『人間ってすごい！』と思わされます。

大きなおみやげ袋を抱えた参加者のみな、ながらお話で盛り上がり、とても楽しく充実した一日でした。



厚木えんかん主催・観劇バスツアー「ライオンキング」&「ZED」(2009.2.28)

(運営委員 / 大森知美)



第131回例会 俳優座劇場公演

『東京原子核クラブ』

運営サークル/第1回顔合わせ

【日時】4月20日(月)2時/6時
4月21日(火)10時/2時
都合のつく時間へ参加下さい。

【場所】厚木えんかん事務局

第1回委員会
4月22日(水)2時/7時

『ファイガ口の結婚』
運営サークル/第4回
4月24日(金)10時/2時/6時

5月分会費の引き落とし
4月27日(日)再引落しは5月11日です。

県演鑑連/代表者会議
4月28日(火)6時半

県演鑑連/幹事会
5月7日(木)1時

県演鑑連/研究集会
5月9日(土)10時

国立劇場観劇バスツアー
5月17日(日)9時

『東京原子核クラブ』
運営サークル/第2回
5月20日(水)10時/2時
5月21日(木)2時/6時
5月22日(金)10時/2時

『東京原子核クラブ』の
「例会参加券」は
5月22日(金)に発送します。

6月分会費の引き落とし
5月27日(日)再引落しは6月10日です。

カルチャー/着付教室
5月27日(水)10時

第2回委員会
5月27日(水)2時/7時

県演鑑連/代表者会議
5月28日(木)6時半

『東京原子核クラブ』
運営サークル/第3回
6月2日(火)10時/2時/6時
6月3日(水)10時/2時

第131回例会
俳優座劇場公演

『東京原子核クラブ』

《会場》厚木市文化会館
6月10日(水)6時半開演

県演鑑連/幹事会
6月11日(木)1時

『東京原子核クラブ』
運営サークル/第4回
6月17日(水)10時/2時/6時

全国演鑑連/研究集会
6月20日(土)21日(日)

第3回委員会
6月24日(水)2時/7時

県演鑑連/代表者会議
6月26日(金)6時半

表紙イラストはサジタリアス

サークル深澤典子さんです。

事務局だより

井上ひさしさんの新作『ムサシ』(主演/藤原竜也 小栗旬)を観てきました。パンフの中で、井上さんとホリプロの堀威夫さんと対談があり、堀さんが、「(演劇は)生存必需品だね。」と言っています。必需品であるという事をどう伝えたらよいのやら...。(悩)



厚木演劇鑑賞会 会報第130号

編集・発行/厚木演劇鑑賞会運営委員会

〒243-0014 厚木市旭町5-43-1 三橋パルク 305
TEL / 046 (228) 9325
FAX / 046 (228) 9349
E-mail / atsugi-enkan@ga2.so-net.ne.jp

ホームページ www.enkan.org
お知らせなど随時更新中!
携帯版サイトは
www.enkan.org/i